

院内探訪

売店



院内の売店「HOW」

普段皆様が、何気なくご利用されている当院の売店をご紹介します。「接客(サービス)」を大切に、「商品を販売する」だけではなく、お客様へ「心の豊かさ」や「癒し」を感じて頂きたい、という想いを大切に接客させて頂いております。

お飲み物、お弁当、カップラーメンや入院中に必要な生活用品は何でもそろえております。また、帯広市東3条南12丁目にある「街のパン屋さん」から毎日美味しいパンを仕入れて販売しております。おすすめは、りんごパン、シュガートースト、ミックスサンド、たまごサンドです。一緒に挽き立てコーヒーやカフェラテもいかがですか？

年中ソフトクリームを販売しております。定番のバニラ、チョコの他に期間限定ですがいちご、抹茶などもそろえております。「HOW」の看板が目印です。是非ご利用下さい。

お気軽にご利用ください。

精神科作業療法

わくわくフェスティバル

10月11日

13:30~15:00
作業療法棟にて

作業療法作品の
展示・販売
喫茶・たこ焼きなど



お待ちしております！

こころみ

2017

Vol.3

平成29年10月1日発行

独立行政法人国立病院機構帯広病院

広報誌

編集発行/広報委員会

発行責任者/朝井 裕一

こころみ

心診 :: Examine the Heart, Mind, Core

独立行政法人国立病院機構
帯広病院 広報誌



2017

秋

Vol. 3



Title/「初秋の気配」 Place / 帯広市 Photo / 織田 浩明

重症心身障がい病棟季節行事「秋まつり」



9月13日(水)に今年も重症心身障がい病棟の「秋まつり」が盛大に行われました。晴天にも恵まれ、中庭の会場にて入院児(者)・ご家族・職員一緒に楽しいひとときを過ごしました。例年行われているバザーの他、出店ではアイスやたい焼き、ケバブ、ドーナツなどがあり、色々なメニューを選びながら美味しく頂きました。催し物はドッグショーや療育棟内のスノーレンルーム、マリオカートとの写真撮影など色々な内容で楽しんで頂きました。たくさんのボランティアの方々にもご協力頂き、大変盛り上がった秋まつりとなりました。入院児(者)のみなさんもいつもと違った屋外の賑やかな雰囲気にとびきりの笑顔を見せてくれていました。重症心身障がい病棟ではこの他に年間を通して様々な行事を企画・実施しています。今後もう少し紹介していければと思いますので、お楽しみに。

アクセス



エッセイ Me!!

手術室 中村 知美



厳しい暑さの夏も過ぎ、紅葉の美しい秋がやってきました。秋と言えば、食欲・スポーツ・芸術・読書など連想するものが多いですね。私自身、趣味で硬式テニスをしているので今年はスポーツの秋を楽しみたいと思っています。秋ならではの行事やイベントも多い季節ですので、皆さんも〇〇の秋を充実したものにしてはいかがでしょうか。

次回 薬剤師 椋本さんに！

予防接種

インフルエンザ

インフルエンザの
予防接種を
受けましょう。



インフルエンザの予防接種を受けることで、重篤な合併症や死亡を予防し、健康被害を最小限にとどめることが期待できます。積極的に予防接種を受け、発症、重症化を予防しましょう。

当院では、通院中の患者様のみお受けします。受け付け開始のご連絡は院内に掲示いたしますのでそちらをご確認下さい。それ以外の方は近隣の医療機関へお問い合わせ下さい。



ニュース

精神科

精神科の
予約変更電話番号が
変わりました！



TEL.0155-33-3190

□ 精神科・神経科

14:00~16:30(月~金)



当院精神神経科よりごあいさつ



統括診療部長 本間 裕士

平成16年、旧国立療養所帯広病院と旧国立十勝療養所が統合したのをきっかけに、現在の場所に新しい病棟が建築され、当院における精神神経科の診療がスタートいたしました。元々、旧国立十勝療養所時代から精神科診療においては定評がありましたが、地域の中心的役割を果たしている心臓血管外科、循環器内科、呼吸器外科、麻酔科と一緒に診療を行えるようになったことで、身体合併症を併発した患者さんの治療にも対応できるようになり、患者さんによりよい医療を提供できるようになりました。また当院精神神経科は、北海道立緑ヶ丘病院と共に、十勝地域の精神科救急当番病院となっており、救急対応を必要とする患者さんにも引き続きお役に立てて行きたいと考えております。

ところで、今年から医学部の教育制度が変わり、診療参加型臨床実習と言って、学生のうちから、実際の診療に参加しながら医学を学ぶことになりました。当院精神神経科にも、北海道大学から数名の医学生さんがまもなく実習にいらっしゃいます。地方における医師不足が叫ばれる中、十勝でよい経験をして頂き、将来十勝で医療につきたいと考える学生さんが少しでも出るよう熱心に指導していくつもりです。プライバシーには細心の注意を払うと共に、失礼の無いよう心がけたいと存じますが、学生さんの実習に関しましては、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

うつ病のおはなし 精神神経科だより

<神経科医師 草地 麻実>

「うつ病」について知っていますか?

うつ病は、一時的な気分の落ち込みとはことなり、治療が必要な病気です。日本では約16人に1人が生涯に1度はうつ病を経験するともいわれおり、決して特別な病気ではありません。ここでは、そんなうつ病の症状についてご説明いたします。

○うつ病の主な症状

うつ病では、「こころの症状」や「からだの症状」が2週間以上続きます。

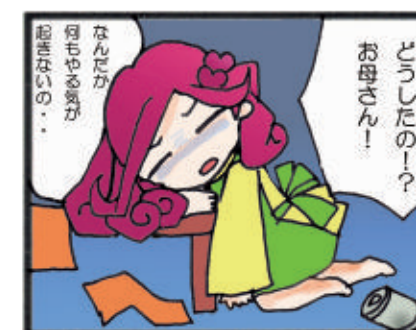
★「こころの症状」

憂うつ・むなししい・不安・イライラ、何をしても楽しくない、動くのがおっくう、悪い方ばかり考えてしまう、集中できない など

★「からだの症状」

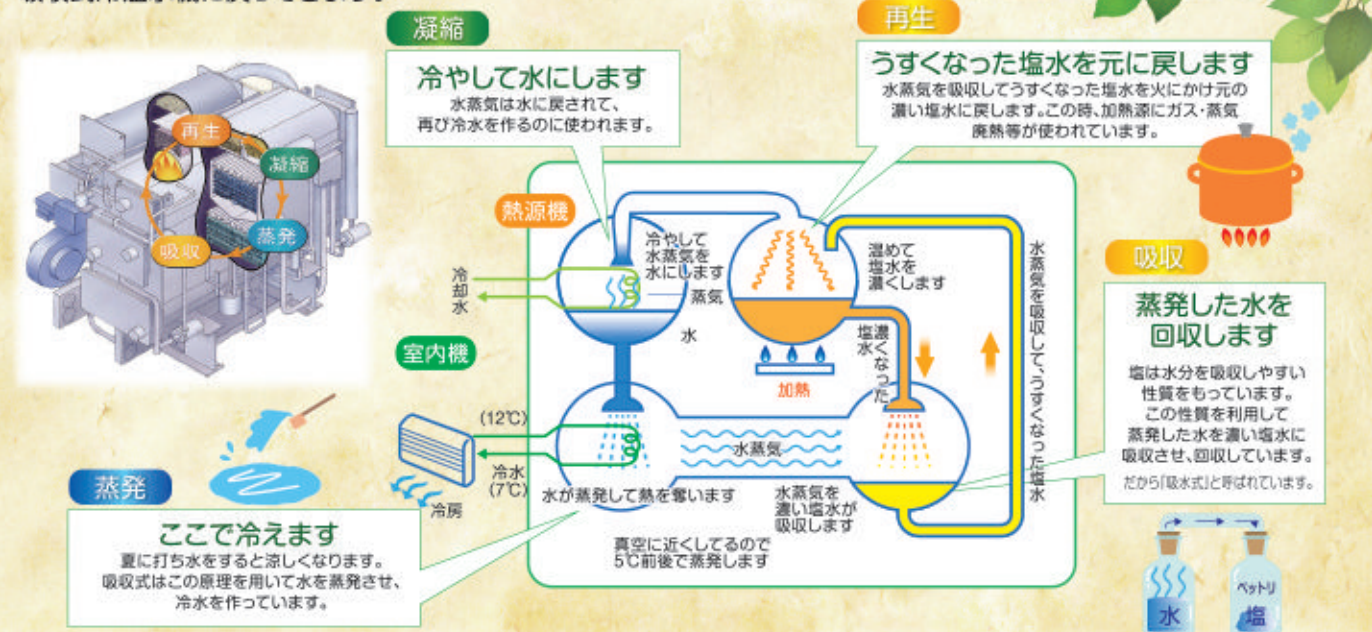
眠れない、食欲が出ない、ひどく疲れる、体がだるい、肩こりや頭痛、吐き気、体のしびれ、息苦しさ、便秘や下痢 など

うつ病は十分な休養と、抗うつ薬などによる薬物治療が大切です。
気になる症状があれば、ぜひご相談ください。



冷房・暖房のおはなし ポイラー室だより

冷房・暖房は同じ機械で使い分けて運転しているって知っていましたか?
吸収式冷温水機という機械を1台で夏は冷房運転し、冬は暖房運転します。
今回は冷房についてお話しします。吸収式冷温水機のしくみは水が蒸発する時に気化熱を奪っていきますが、この気化熱を利用して冷房をする方式です。
夏は冷水を10℃で各病棟・外来等々のほぼ全域に送り、約5℃温まって15℃で吸収式冷温水機に戻ってきます。



[こころみ Q&A]

ここでは、当院への
疑問質問をこころみ
Q&Aとしてお答えしたい
と思います。

Q. 精神科のリハビリテーションって何ですか?

A. 精神科治療の一つの方法で、医師による診察や薬物療法と同様に、症状を軽減させたり、再発予防の効果があります。

日々の生活をしていく上で、いろいろなストレスがあります。不安なことや苦しいことや悲しいことなどのつらいことだけではなく、うれしいことや喜ばしいこともストレスになります。ストレスの全くない生活はありません。

そのストレスが自分では対処しきれずにどうしようもなくなって、自分の身体や生活に悪い影響を及ぼしてしまうことがあるかもしれません。

そんなストレスを上手に解消したり、上手に対処できる知識や技能を身につけることが精神科リハビリテーションの一つです。

予約変更
専用番号 Tel 0155-33-3190

《精神科・神経科》 電話受付時間 14:00~16:30 (月~金)

